

あいなん掲示板

愛媛県から

お知らせ

10月は「骨髄バンク推進月間」です

毎年、約6,000人の方が、突然、白血病などの血液難病にかかっています。

「骨髄液や末梢血幹細胞の提供（骨髄・末梢血幹細胞移植）」というあなたの善意が、骨髄移植等以外に治療法のない、白血病や重症再生不良性貧血などの血液難病患者さんの命を救います。

骨髄移植等を成功させるためには患者さんと骨髄等提供者（ドナー）の白血球の型（HLA型）を一致させる必要があります。しかし、HLA型は兄弟姉妹間で4分の1、他人では数百万分の1の確率でしか一致せず、また多くの患者さんが骨髄移植等を受けられないでいます。

ドナー登録は約2mlの採血で済みます。一人でも多くの患者さんを救うために、一人でも多くの方のドナー登録をお願いします。

愛媛県では「骨髄バンク登録窓口」を次の施設で開設していますので、18歳から54歳までの健康な方の登録をお願いします。

【愛媛県内の骨髄バンク登録窓口】

大街道献血ルーム、西条保健所、今治保健所、八幡浜保健所、宇和島保健所

※事前に予約をお願いします。また、施設により登録窓口の開設日が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

問合せ

県庁 薬務衛生課 TEL 089-912-2391

(公財)日本骨髄バンク TEL 0120-445-445 (フリーダイヤル)

■あいなん小児医療を守る会から

第4回あいなん医療研修会、開催しました

9月5日、あいなん医療研修会を開催しました。今年、兵庫丹波市にある丹波新聞社記者の足立智和氏を講師としてお招きし、「地域が医療を守る」と題して講演をいただきました。

講演に先立って、愛南町保健福祉課から医療を守り育てるための町独自の取組について、消防本部からは救急車の年間搬送件数などの報告がありました。

足立氏の講演では、住民が立ち上げた「県立柏原病院の小児科を守る会」の取組が紹介されました。その中で、医療者と住民が、共に力を合わせて医療を作り上げる大切さや、「子どもを守ろう」だけでなく「お医者さんを守る」をスローガンにしていることを聞きました。

町内の病院やクリニックの先生方は、激務の中、「早く元気になるように」と、私たち患者を診てくださっていると幸いです。ところが、私たちはどうでしょうか？私自身、守る会に入るまでは、「診てくれて当たり前」、「近くの病院に先生がいな



問合せ

あいなん小児医療を守る会

TEL 73-2288

(プラザじょうへん内)

ainan.manoru@gmail.com

お知らせ

愛媛県後期高齢者医療広域連合から

後期高齢者の歯科口腔健診が 始まりました

愛媛県後期高齢者医療広域連合では、今年9月から無料歯科口腔健診を実施しています。

いくつになっても歯の健康は非常に重要です。この機会にぜひ歯科口腔健診を受診してください。

受診できる方 愛媛県後期高齢者医療の被保険者の方

◆ただし、次の方は対象外となります。

- ・病院又は診療所に6か月以上継続して入院している方
- ・施設等へ入所・入居している方

受診方法 愛媛県後期高齢者医療広域連合に電話等で直接お申し込みください。受診希望者に、クーポン券を郵送します。

クーポン券を受け取った方は、受診を希望する医療機関にお申し込みください。

実施期間・受診回数 平成28年2月29日(月)までの期間内において1回

実施場所 県内登録医療機関(愛南町の歯科医院は、すべて登録されています。)

※愛南町以外の登録医療機関については、愛媛県後期高齢者医療広域連合のホームページをご覧くださいか、お問い合わせください。

自己負担 なし

※昭和13年4月1日〜昭和14年3月31日生まれの被保険者で最近歯科の受診がない方には、受診をお勧めする通知をお送りしています。

健診の申込み及び問合せ

愛媛県後期高齢者医療広域連合 事業課医療給付係

TEL 089-911-7733

お知らせ

愛媛労働局から

最低賃金が改正されました

県内すべての労働者に適用される「愛媛県最低賃金」の改正に伴い、平成27年10月3日以降分として労働者に支払う賃金は、1時間 696円以上としなければなりません。最低賃金以上の賃金を支払わない場合、50万円以下の罰金に処せられることがあります。

問合せ

愛媛労働局 賃金室 TEL 089-935-5205

宇和島労働基準監督署 TEL 089-512-4655

お知らせ

愛媛労働局から

労働保険料の納付期限について お知らせします

労働保険(労災保険・雇用保険)料の第2期分の納付期限は11月2日(月)です。

事業主の皆様へは10月21日頃に納付書をお届けしますので、最寄りの金融機関での納付をお願いします。

問合せ

愛媛労働局 労働保険徴収室 TEL 089-935-5202

心配ごと相談所

無料で民生児童委員2名が日常生活でかかえる心配ごととの相談をお受けします。

10月21日(水)14時~16時
御荘老人福祉センター

無料法律相談

無料で司法書士が相談をお受けします。

※1回の相談人数は5人までで事前予約が必要です。定員に達した場合は受付を終了します。

10月13日(火)14時~16時
御荘老人福祉センター

詳しくは、社会福祉協議会本所(Tel70-1236)までお問い合わせください。

10月に赴任した医師を紹介します



【内科】高橋龍徳たかのり医師

県立中央病院で循環器内科医として従事し、この10月から総合内科医として県立南宇和病院に赴任しました。県立南宇和病院での勤務は、今回で4回目となります。これから、愛南町の地域医療に貢献できるよう精一杯がんばりたいと思いますので、よろしく願います。

お知らせ

愛媛県から

薬は正しく使いましょ

- 10月17日(土)〜23日(金)は「薬と健康の週間」です。お薬を使用する際には次のようなことに注意し、より安全に効果的に使用してください。
- ◇使用する前に薬の添付文書(能書)をよく読みましょ。
 - ◇用法・用量を守りましょ。
 - ◇薬の形(剤形)にあった服用方法を守りましょ。
 - ◇薬の飲み合わせ(相互作用)に注意しましょ。
 - ◇高齢者の薬の使用には特に注意しましょ。
 - ◇薬は正しく保管しましょ。
 - ◇古い薬の使用はやめましょ。

問合せ

県庁保健福祉部健康衛生局薬務衛生課

TEL 089-912-2391

(一社)愛媛県薬剤師会 TEL 089-941-4165

南宇和病院見学ツアーを開催しました

県立南宇和病院では9月5日、6日に県立中央病院に勤務している研修医を招き、見学ツアーを開催しました。

この催しは、研修医に愛南町の魅力や地域医療のすばらしさを知ってもらい、将来、愛南町に来ていただくためのきっかけ作りとして、昨年度から実施しています。

ツアーでは、愛南町の西口源一保健福祉課長が愛南町の風土や産物などを紹介し、当院医師が病院紹介や地域医療体験談を披露しました。

また、御荘病院の長野敏宏院長が、精神医療・保健福祉活動を通じた町づくりの紹介を、松本クリニックスの松本毅院長が、地域医療における医師の役割に関する講演とグループ討議を行いました。

夜の交流会では、南宇和郡医師会や地元団体、住民との親交を深めることができました。

研修医からは、「地域が一丸となって医療問題に取り組んでいるのを感じた」、「自分なりの

ビジョンを持って地域医療に取り組みたい」というご意見をいただきました。
ご協力いただきました皆様方、ありがとうございました。



お知らせ

独立行政法人国際協力機構から

JICAボランティアを募集します

平成27年度JICAボランティアを次のとおり募集しています。あなたの技術・経験を生かし、発展途上で現地の人々と協働しながら国づくりに協力してみませんか。

募集種類 ①青年海外協力隊／日系社会青年ボランティア

②シニア海外ボランティア／日系社会シニア・ボランティア

対象 平成27年11月2日現在、①は満20歳～満39歳、②は満

40歳～満69歳 ※日本国籍を持つ方

応募締切日 11月2日(月) 消印有効

応募方法 所定の応募書類(健康診断書を含む。)を郵送して

ください。

※募集説明会を10月17日(土)、松山市総合コミュニティセンターで開催します。関心のある方は、ぜひご参加ください。

問合せ JICA四国 TEL 087-821-8824

愛媛労働局から

お知らせ

パートタイマーお悩み相談ダイヤルをご利用ください

愛媛労働局雇用均等室ではフリーダイヤルを設置し、労働者等の相談をお受けします。

・パートから正社員になれないの？

・正社員は昇給するのに、パートは何年働いても同じ賃金？

・育児休業を取得したら復帰するところはないと言われた。

・職場でセクシュアル・ハラスメントを受けて困っている。

などパートタイム労働、育児休業等に関して日頃疑問に思っ

ていることを、この機会にお気軽にご相談ください。

開設日時 11月9日(月)～13日(金) 9時～17時

フリーダイヤル TEL 0120-953144

問合せ 愛媛労働局 雇用均等室 TEL 089-935-5222

— あいなん音故地新 — 備えあれば憂いなし —

9日の関東は梅雨以上に雨、雨、雨。家の中も心もジメッとしてしまいそうな日々が続いた。東京にいても酷い雨やと思ったけど、それ以上に北関東では豪雨が続いたんやろう。そして、茨城や宮城で水害が起こった。津波を思い起こすような光景に胸が苦しくなる。テレビに釘付けになりながら一人、一人救助されていく様子や現地の方々のインタビューを聞いた。

“もっと早く避難指示が出ていれば…” “まさか決壊するなんて…” そんな声が聞こえた。自然災害は誰にも予知できん。予測ができん。いつどこで何が起こるのが知る術もない。自分を守れるのは自分だけ。“今まで大丈夫やったから大丈夫やろう” 避難指示が出てないから危なくないやろう” という気持ちは捨ててほしい。常に危機感を持って備えてほしい。

愛南町は海の町。いつどんなことがきっかけで津波がくるかなんて誰にもわからん。これを機にもう一度考えてほしい。“もしも” のときに備えてほしい。何かが起こったとき、できるだけ悲しみが少ないように。どうか、どうかもう一度。備えあれば憂いなし。

(テノヒラkiku)